

2014年3月6日
在リオデジャネイロ日本国総領事館

リオ州の安全情報(2014年13号)

カーニバル期間中の邦人被害

6日正午現在までに当館が把握している本年のカーニバル期間の邦人被害は以下の通りです。

1. 2月15日正午頃、コパカバーナから路線バスでコルコバードに向かった旅行者がバッグを座席横に掛けていたところ、気づかない間にバッグを開けられ、中にあったカメラを盗まれた。
2. 2月22日、旅行者がガレオン国際空港のATMで日本の銀行のキャッシュカードを使用したところ、その際に磁気情報が奪われたと見られ、同29日までに9回に亘って不正出金が行なわれた。
3. 2月28日午後8時30分頃、女性旅行者がセントラル・ド・ブラジル駅付近路上でタクシーを探していたところ、13歳から16歳くらいの少年グループ5名が近づき、被害者が手に持っていたカメラとスマートフォンを素早く奪い取って逃走した。
4. 3月1日午前3時頃、旅行者がコパカバーナ地区の路上を散策中、若者4人に囲まれて金品を要求された。被害者が拒否したところ、犯人はナイフを突きつけて被害者に切りつけたが、付近を巡回していた警察官が犯行を察知し、犯人は逃走した。被害者はかすり傷で金品の被害なし。
5. 3月1日午後7時頃、旅行者が地下鉄で移動中、ボタフォゴ駅で扉が開いた瞬間に、隣に立っていた女性が被害者のズボンのポケットにあったスマートフォンを素早くつかんで車外に逃走した。
6. 3月1日午後7時頃、サンパウロからの長距離バスでバスターミナルに到着した女性旅行者が、ターミナル1階の地面に座っていたところ見知らぬ男にポルトガル語で話しかけられている間に、デジタル一眼レフカメラを盗まれた。
7. 3月2日午前4時頃、女性旅行者がセントラル・ド・ブラジル駅前のバス停付近で少年に英語で「駅を探しているのか」話しかけられて立ち止まったところ、バッグをひったくられた。
8. 3月2日午後5時頃、観光客がノッサ・セニョーラ・デ・コパカバーナ

- のレストランの屋外の座席で食事中、ホームレス風の男に話しかけられたので無視していたところ、隣の座席に掛けてあった鞆を気づかない間に盗まれた。鞆には所持金全額と旅券、スマートフォンが入っていた。
9. 3月3日午前1時頃、旅行者がセントロ地区のAv. Gomes FreireとRua do Senadoの交差点付近を歩いていたところ、近づいてきた20歳くらいの男にナイフを突きつけられ、現金、カメラ2台、スマートフォン等を強奪された。
 10. 3月3日午後11時頃、旅行者がセントラル・ド・ブラジル駅付近路上でデジタル一眼レフカメラをひったくられたが、警戒中の警察官らが犯人を取り押さえ、被害品は返還された。
 11. 3月4日午後6時頃、旅行者がセントロ地区のセントラル・ド・ブラジル駅前の広場で若者に話しかけられ、危険を感じて逃げようとする8名前後の少年少女が被害者を囲んで行く手を遮り、最初に話しかけてきた若者が被害者を突き倒してポケット内にあった財布と携帯電話を強奪した。犯人に顔面を数回殴打されたが、負傷はなかった。

高級カメラやスマートフォンが狙われる傾向が顕著で、特に今年はサンボドロモ(カーニバルのメイン会場)の行き帰りの観客に被害が多発しました。

外部から判別できる状態で高級カメラを携帯することは非常に危険です。

サッカーワールドカップ開催時にも同様の事件の発生が予想されます。

また、夜間に安易に外出して被害に遭った事例も多く見られます。夜間はどこも危険と認識してください。